



# ふ.る.る Mibu だより

発行：壬生町教育委員会事務局生涯学習課

〒321-0292 壬生町通町 12-22

TEL 0282-81-1873 / FAX 0282-82-0935

E-mail: gakusyu@town.mibu.tochigi.jp

## Mibu ふ.る.る JLC ～ クリスマス会 ～

令和2年12月20日に南犬飼地区公民館において、クリスマス会を開催しました。クリスマス会では、クリスマスツリーづくりやビンゴゲームなどの活動を行いながら、メンバー同士の交流を深めました。今回は、その活動の様子と参加者の感想を掲載します。

### クリスマスツリーづくり



- 初めて作るもので、とても楽しかったです。最初から細かいところまで縫ってくださっていたので助かりました。
- クリスマスツリーをつくるのが楽しかったです。ビンゴゲームもわくわくして楽しかったです。
- わたをつめるのが大変だったけど楽しかった。よい“クリスマスツリー”ができた。

### ジュニアリーダーズクラブ

## JLC

地域活動に関心のある中学生と青少年が会員として登録し、メンバー相互の交流をはかりながら、壬生町の人と人をつなぐ架け橋となるような活動に取り組むボランティアクラブです。

次年度の会員を募集する「ふ.る.る Mibu JLC 案内」チラシを後日配布しますので、少しでも興味・関心がある中学生や青少年（高校生）のみなさんは加入してみてもいいかもしれません。JLCの活動についての詳細は、配布するチラシでご確認ください。～ 設立 29 年目 ～

# 『とちぎの慣習・ことば集 ～のこしていききたい つたえていききたい』

## とちぎ人の想い～（栃木県教育委員会）』より

第7号（ふるふるMibuだより）では、サガンボ、モロ、第8号では、しもつかれを取り上げました。今回は“ことば”について取り上げます。栃木県には、相手を気遣う行動やことばがけ、親しみを持って使ってきたことばが数多くあります。これらは、よりよい人間関係をつくり、相手を思いやる優しい社会を形成するために大きな役割を果たしてきました。その“ことば”をいくつかご紹介いたします。あなたは、どのくらい使っていますか？

### ・『だいじ』 意味：だいじょうぶ

<こんなときに使います>

○ころんだとき 「だいじけ？」 ⇒ 「だいじ、だいじ！」

※相手に心配をかけないように、本当はだいじょうぶではないのに言うてしまうこともあります。また、「だいじ」2回繰り返して強調することもあります。



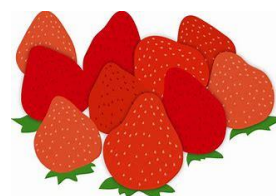
### ・『よばれる』 意味：ごちそうになる

<こんなときに使います>

○他人から食べ物をもらったとき

「隣の家から桃をもらったから、よばれよう」

「このあいだ、〇〇さんちでおいしいイチゴをおよばれたのよ」



### ・『まぜる』 意味：仲間に入れること

<こんなときに使います>

○遊びの場面で・・・「(かくれんばなどに)まぜーて。」⇒ みんなで「いーいーよ。」

### ・『まさか、まさか』 意味：さすが、思った以上に

<こんなときに使います>

「〇〇さん、まさかかわいい！」

※栃木県では、尊敬の気持ちなどを込めて「さすが」「すごい」の意味で使われることがあります。

### ・『あったらもん』 意味：もったいない、大事な物

### ・『いかんべ、よかんべ』 意味：よいでしょう

### ・『ごじゃっぺ』 意味：うそ、でたらめ

